

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像 自己を高めようと努力し、自ら学び続ける子 ～教科教育・総合の学習の時間の中で「探究」と「対話」する活動を通して～	堺市立上神谷小学校 校長 橋本和紀
---	----------------------

令和8年度 重点目標 「学び続ける学習者の育成」 自ら問い、考え、調整しながら、学びを深め続ける子の育成
--

確かな学びの現状 ・「ふりかえり」を活用した授業づくりに継続して取り組む中で、学習を振り返りながら次の課題に向かおうとする姿が見られるようになっている。今年度は、サキドリによる裁量的な時間を生かし、自分のふりかえりから新たな探究課題を見いだすことができる児童の育成に取り組んでいきたい。 ・「読書意欲の向上」に関わる取組についても一定の成果が見られる。今年度も継続した取り組みを行うとともに、家庭と連携した読書習慣の定着に向けた活動にも取り組んでいきたい。 ・探究学習に主体的に取り組む力を育成するため、対話を通して考えを深める学習活動や、学校内外での発表の機会の充実を図り、教科で身に付けた力を生かして学びを深める姿をめざす。	豊かな心・健やかな体の現状 ・昨年度は、学習面や対人関係を起因として不登校傾向にある児童が数名見られた。引き続き、児童一人一人の状況を丁寧に把握し、関わる時間を確保した支援が必要である。自分の状態を振り返り、気持ちや行動を調整する力(メタ認知・自己調整力)の育成を意識した支援に取り組んでいきたい。 ・体力・運動能力、運動習慣等調査では堺市平均を上回る種目が多い。今後も振り返りを通して改善しようとする態度を育てていきたい。 ・自分から進んであいさつをする児童は増えているが、場に応じたあいさつには課題が残る。引き続きあいさつ活動に取り組むとともに、自分の行動を振り返り、人間関係をよりよくしようとする意識を高めていきたい。
---	---

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～〇月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	基礎学力	・基礎学力の定着を図るとともに、その力を基に自ら探究し、課題解決に向かおうとする力の向上をめざす。	● 自分の考えや友だちの意見を基にした「ふりかえり」を授業に位置付け、学びを調整しながら探究し続ける力を育成する。	学習の中で、自分の考えや友だちの意見を基に振り返り、次の課題や改善点を見いだそうとしている。	児童のノート 教育アンケート	年度末			
		・読書活動を通して語彙量を増やし、思考力・表現力の基盤を育成する。	・学校司書を活用し読書の時間を充実させ、読書ノートの活用や読書キングの表彰などにより読書量の増加を図る。	家で読書をしている児童を50%以上にする。本をよく読むようになった児童を70%以上にする。	教育アンケート	年度末			
授業改善		・どの授業においても探究する活動を充実させ、児童用PCを活用した問題解決学習を通して、学びを振り返りながら主体的に考える分かりやすい授業を行う。	● 前時のふりかえりを学習の導入に位置付けるなど、学びの連続性を意識した授業を実践し、児童が課題をもって探究に向かえるようにする。	前時のまとめを想起しながら授業のめあてを理解し、自分なりの見通しをもって学習に取り組んでいる。	児童のノート	年度末			
		★ 児童用PCを活用し、資料の提示や意見の共有、考えの整理を行うことで、対話を通じた問題解決学習を充実させ、分かりやすい授業づくりを進める。	「生活・総合」の学習は楽しいと思っている児童を90%以上にする。	教育アンケート	年度末				
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	・相手を尊重し、思いやる心を育てるとともに、自分のよさや役割を実感できる活動を通して、一人ひとりの自尊感情を高める。 ・たてわり活動や人権教育を通して、互いの違いを認め合い、安心して自分を表現できる仲間づくりを進める。	・たてわり活動の充実を通して、関わりを振り返る機会を大切にしながら、互いを認め合う仲間づくりを進め、いじめを許さない態度と自尊感情の育成を図る。	・「いじめは許されない行為である」と理解し、学級や学校生活の中で、その意識をもって行動しようとする児童が大多数を占めている。	教育アンケート	年度末			
		・自尊感情を育てるために、教師が子どものよさや努力を認める活動や上神谷ルームの活用を充実させる。あわせて、児童とかわる時間を意図的に確保し、子どもが主体的に活動するとともに、自分の成長を振り返りながら達成感を味わえるようにする。	・「先生は認めてくれている」と感じる児童を95%以上にする。	教育アンケート	年度末				
		・自分の行動を振り返る機会を設け、相手や場に応じて自主的にあいさつできる児童の育成を図る。	・毎日、学校や地域で声を出してあいさつしている児童を90%以上にする。	生活アンケート 教育アンケート	年度末				
健康な体づくり		・日常的に運動に親しむ態度を育て、体力や運動能力の向上を図る。 ・運動や生活の様子を振り返りながら、規則正しい生活を意識して実践しようとする児童を育成する。	・自己の成長を振り返る活動を取り入れるなど授業構成を工夫し、運動の楽しさや達成感を味わわせることで、運動に親しみ、運動が好きな児童を育成する。 ・生活リズムの基本である睡眠時間の大切さを理解させ、早寝・早起きを意識した生活を心がけるなど、規則正しい生活習慣の定着を図る。	・運動が好きという児童を90%以上にする。 ・早寝早起きしている児童を85%以上にする。	教育アンケート 教育アンケート	年度末 年度末			
		開かれた学校づくり	・地域・家庭・学校がそれぞれの役割を意識し、互いに連携・協働しながら、子どもたちの学びと成長を支える教育活動を推進する。	・地域について探究する学習活動を充実させ、学習の成果を地域に向けて発表する機会を設けるなど、地域に積極的に働きかける取組を行う。	・地域に発表する活動や、地域の人と関わる学習が好きだという児童を80%以上にする。	教育アンケート	年度末		
地域協働		・朝礼や校報、ホームページ等を活用し、学校の様子について積極的に情報発信を行い、児童や保護者、地域への周知を図る。	・学校の教育活動や行事について「知っている」と回答する児童または保護者の割合が70%以上である。	教育アンケート	年度末				

校長より(年度末)	学校関係者評価者から(年度末)
-----------	-----------------